

令和6年度 世田谷区立池之上小学校 学校関係者評価委員会からの提言(学校関係者評価委員会報告書)

本年度、本委員会は学校関係者評価の結果に基づき、保護者、児童、地域の3者の分析結果について池之上小学校へ提言します。

【学校関係者評価委員会】 ◎委員長

◎松尾 弘：元同窓会会長

馬場 浩彰：元保護者

森 奈弓：青少年委員

都崎 裕子：学校協議会委員

飯田 紀子：池之上青少年交流センター長

◆ 調査の概要 ◆

1、実施日

① 児 童 令和6年11月28日から12月12日

② 保護者 令和6年11月28日から12月12日

③ 地 域 令和6年11月28日から12月12日

2、実施・回収の方法

① 児 童 教室で実施（WEBにて回答）

② 保護者 すぐーるでのデータ配信、WEBにて回答いただき、回収

③ 地 域 学校協議会委員・学校関係者の方々へ配布し、回収

3、回収率（%） 下表

① 保護者

	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年
R6	75.3	88.1	84.5	77.2	81.1	68.6	67.3
R5	52.9	70.2	50.0	46.3	45.5	53.1	51.9

② 地 域

	全体
R6	67.1
R5	60.0

4、結果概要の捉え方

① 肯定派 「A、とても思う」「B、思う」の合計（%）

② 満足度が非常に高い 肯定率が80%以上

③ 満足度が低い 肯定率が65%未満の項目

④ 周知徹底の必要あり 「E、わからない」が15%以上の項目

評価アンケートにご協力いただき、感謝申し上げます。

全体的傾向から見ると

保護者の肯定派は、43設問中22項目（昨年度27項目）、

児童の肯定派は、31設問中14項目（昨年度19項目）、

地域の肯定派は、20設問中10項目（昨年度7項目）という結果でした。

※右記のグラフは、肯定的回答の上位3項目、否定的回答の上位3項目から抜粋したものや、前年度より大きく変化している項目について掲載しています。

<結果概要からの全体考察>

昨年度よりも保護者からの回収率は22.4%高くなり、75.3%となった。昨年度に続き、保護者はwebでの回答であったが、保護者への周知の工夫をしながら、さらに回収率を上げ、8割以上の回収率を目指したい。

今年度は、新しい校舎への移転、校舎落成記念・開校80周年記念式典など保護者や地域の方々に多数来校いただき子どもたちの様子を参観していただくことができた。地域の皆様に児童の様子を直接見ていただく機会が増えたことで、地域の方からのアンケートの回収率も高まった。学校公開も年間10日実施することができた。また、おたよりやHP学校日記の更新もすることで、保護者や地域の皆様に児童の様子が伝わるようにした。

今回の学校関係者評価の結果をもとに、次年度もよりよい池之上小学校の教育ができるように職員一丸となって努力していく。

<提言>

○評価アンケートの回収率に関して、今回工夫をすることで回収率が上がったことは、よかった。学校への関心が高まっていると捉えられるだろう。令和5年度より令和6年度の方が評価が下がっているのは、学校のことに興味をもってもらえている証拠ではないか。周知の方法を工夫することで、さらに回収率を上げることができると考える。

○次年度も今年度と同じくらいの回収率を目指し、その上で、今年度と次年度の結果を比べることが大切である。

○来年度は、区の統一した質問項目が無くなり、学校独自の項目のみとなる。学校として聞きたいことをしっかりと考える必要がある。

保護者アンケートの結果より

本校は、子どもの生き方や将来のことについて、考える授業をしている。

※肯定派が低い項目

R6	55%
R5	66%

本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている。

※肯定派が下がった項目

R6	79%
R5	91%

学校行事は、子どもにとって楽しい。

※肯定派が高い項目

R6	95%
R5	97%

◆小学校でのキャリア教育の考え方

本校では、他者、社会、自然、環境等の中での体験的な活動を重視し、自分と向き合い、他者に共感することや社会の一員である個人の能力、発達の特性等の多様性を理解し、規範意識を育み、自らのよさに気付き、自分の生き方や将来に夢がもてる「キャリア・未来デザイン教育」を推進している。

低学年では「好きなこといっぱい できることいっぱい 学校って楽しいな」、中学年では「自分と友だちとみんないっしょに」、高学年では「挑戦する やりぬく 夢・希望を広げる」という発達段階に応じた育ちで捉えていく。また、他の学年様々な年齢の子どもたちとかかわったり、保育園、幼稚園や他の小学校、中学校、特別支援学校などの子どもたちとかかわったりすることを重要視していく。

◆池之上の子どもたちの実態

「本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている。」は昨年度より12ポイント低い評価となった。子どもたち自身の評価でも、昨年度より9ポイント低い評価となっている。「せたがや探究的な学び」を意識した体験的な学習活動をさらに取り入れていく。

<提言>

・「キャリア・未来デザイン教育」については、それと分かるように、そして指導していることが見えるようにしていくことで、「分からない」の回答を減少できるのではないかと。HPの学校日記を活用して、どんどん発信をしていくことを進めてほしい。

・家庭でのコミュニケーションも減っているのではないだろうか。子どもと保護者が、今日こんな授業をやった、こんなことを学習したという会話をしてほしい。

児童アンケートの結果より

わたしは、失敗を恐れなくて、いろいろなことに挑戦している。

※肯定派が低い項目

R6	60%
R5	69%

私は、学校のきまりを守って行動している。

※肯定派が下がった項目

R6	67%
R5	83%

自分の生き方や将来のことについて考える授業がある。

※肯定派が伸びてきている項目

R6	71%
R5	63%

◆キャリア・未来デザイン教育の実態

「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。」の肯定派が伸びてきていることから、子どもたちは、本校のキャリア・未来デザイン教育の中で自己肯定感という視点での「自分づくり」と人間関係という視点での「かかわりづくり」をさらに豊かにしていく。

◆子どもの自己認識

子どもたちは、学校行事や日常生活の中で、本当に様々なことに挑戦しながら自信を付けているが、「失敗を恐れなくて」というところが子どもたちにとっては、「とてもそう思う」「思う」と言いきれない部分なのではないかと考える。

◆池之上の子どもたちの実態

今年度9月より、新校舎に移り、学校生活のきまりを改めて子どもたちと確認しながらの生活が始まった。新しい施設の運用を図る中で、前校舎との違いに戸惑いを感じた子どもが少なからずいたのは事実である。それを受けて、今回肯定派が下がったと考えた。次年度に向け、さらに学校生活のきまりを見直しながら、安全・安心な学校生活が送れるようにしていきたい。

<提言>

・今年度キャリア教育についての項目で、子どもたちの「分からない」の回答率が下がっている。これは、本校のすくすくルームを使っている中学生の部活動など中学生との交流なども増えてきたことが影響しているのではないかと。下学年への周知をさらに行っていくことで、子どもたちの中学生への憧れやイメージを広げてほしい。

地域アンケートの結果より

学校の子どもたちは、自然とかかわり、自然を大切にしている。

※分からないが多い項目

R6	40%
R5	64%

学校は、安全・安心な学校づくりを進めている。

※肯定派が高い項目

R6	96%
R5	91%

私は、社会のルールについて子どもたちと話し合っている。

※肯定派が下がった項目

R6	40%
R5	64%

◆地域との連携

校舎が移転となり、地域の方との連携を深めていっているところである。今まで以上に様々な活動でお力添えをいただきたい。

「学校は、安全・安心な学校づくりを進めている。」の項目では、大変高い評価をいただいた。安全運転呼びかけ隊の活動に地域の方が多数参加してくれるなど、学校と保護者と地域とが一体となって子どもたちを見守っていることを評価していただけたと感じている。

◆地域の方々の思い

「私は、社会のルールについて子どもたちと話し合っている。」の項目は、昨年度と文言を変更した項目であるが、肯定的回答が減少し、「分からない」の割合が増えた。子どもたちと地域の方々が直接関わる機会を増やしていくことで、地域でも子どもたちを育てていけるように、地域の皆様と連携していく。

<提言>

・それぞれのアンケートの「分からない」という回答を減らすために、アンケートと一緒に、学校の考え方や取組についての説明を配布してはどうだろうか。また、学校の様子についてホームページなどで今後も発信してほしい。

・「私は、社会のルールについて子どもたちと話し合っている。」の項目については、文言を変更したことで、「今やっている」という捉え方になったのではないだろうか。「分からない」の割合が増えていることも合わせて考えると、子どもたちと地域の方との触れ合いを大切にしていきながら、授業や行事等での関わりなど、地域との関わりをもっとアピールしてほしい。